



こうほう

—総代会、各本部全体会議特集—



DENNET
デンネット“DENNET”は電気(Denki)工
事業で固く結ばれた協同集団(Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 131 号

平成26年(2014年)7月10日

石川県電気工事工業組合

北陸新幹線

平成27年春に計画から40年以上がたって、ようやく北陸新幹線が金沢まで開業します。また、平成37年度までには敦賀まで開業することになっています。

列車名は東京－金沢間の主要駅のみ停車する速達タイプの『かがやき』、東京－金沢間各駅停車タイプの『はくたか』、富山－金沢間のシャトルタイプの『つるぎ』、従来の東京－長野間の『あさま』と決まっています。現在、越後湯沢経由で金沢－東京間が約4時間かかっていたのが、速達タイプで約2時間30分となります。

列車はE7系(JR東日本)とW7系(JR西日本)で、グリーン車より上級の高級座席「グランクラス」が導入されます。

(写真はW7系:JR西日本提供)

目 次

新年度のご挨拶	1
第73期通常総代会	9
第52回優良従業員表彰式	16
3本部、相次いで全体会議開催	20
電気使用安全月間行事	24
各本部だより	26
青年部だより	34
第一回電気工事技能競技北陸大会	35
『平成26年度 新任班長教育』が実施されました	36
『平成26年度 新入社員教育』が実施されました	37
新加入組合員の紹介	38
新規採用職員の紹介	39
資 料	42

安全・安心な 電気の安定供給を目指して

理 事 長 米 沢 寛



社会全体が多様化しつつあるなか、お客様のニーズも多様化しつつあります。多岐にわたるニーズにいかに対応すべきか、私たち電気工事業者の経営姿勢があらためて問われようとしています。これまでも増して質の高い提案とよりスピード感を持って応えることが、信頼と満足につながると思います。固い絆で組合員が結ばれるだけでなく時代の変化に対応できる「しなやかで強い組織」づくりも求められています。

ここ数年、電気工事業界を取り巻く環境は、かつてと比べ太陽光発電設備設置工事をはじめ再生可能エネルギー、省エネ対応のLED照明への取り替えやEMS、また国土強靱化対策の一環としての防災減災対応工事など明るい兆しもみえはじめてきました。

一方、東日本大震災後、全原発はいまだに稼働停止の状況にあります。急場をしのぐ火力発電の原料輸入に巨額の国富が流失しています。エネルギー確保に対する課題は山積するなか、昨年暮れには電力システム改革プログラムを包含した電気事業法が改正されました。電気工事業界としてこれらの動向に眼を離すわけにはいきません。

新聞などでは電力制度や仕組みを変えればすべて良くなるという報道ですが、既存の電力供給システムは制定時、それぞれの時代の社会的背景のなかで、日本特有の風土に合わせ改良、改善されてきた日本独自のシステムと思います。長い歴史を積み重ねてきたシス

テムを変えるということはもっと慎重な議論と研究が必要です。先の東日本大震災復旧時に、社会インフラの中で電気が最も早く復旧が出来たのは日頃から電力会社および電気工事業界が確固たる信頼関係にあったことを忘れてはなりません。電気工事業界としてこれまでの経験から国益のためどのような判断が適切か、社会の発展に繋がるか電気事業者ともども真剣に議論、熟考をすべきと考えています。

24時間安全・安心に確実に電気をお届けする責務を負う電気工事業界としてさらに施工品質の向上にもつとめなければなりません。「街のドクター」として地域社会からさらに信頼を得るには、時代にふさわしい革新に対応できる新技術の取得も求められています。組合員の一人ひとりが二役も三役もこなすだけの努力も必要でしょう。今年から毎年、開催してきた電気工事業全国大会を隔年開催とし、変わって11月29日に東京・両国国技館で第1回電気工事技能競技全国大会を開催することになりました。技能競技大会の開催を機に多くの皆さんに電気工事業界に関心を寄せていただき、業界の技術向上につなげたいと思います。

これからも組合員ひとり一人のたゆまざる努力と工夫を結集することで、スピード感をもって果敢に挑戦、常に飛躍をめざす業界でありたいと願っています。

新年度を迎えて

副理事長兼
加南本部長
(広報担当)

川 腰 利 榮



組合員の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は組合事業運営に関し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

第73期総代会もご出席皆様方のご協力により、総ての議案を慎重にご審議され、ご承認頂きました。ありがとうございます。

さて、昨年度は期待されました新政権が誕生し、次から次へと打ち出された経済対策等により株価や消費マインドが大幅に改善し、建設業界も公共投資や東日本大震災の復興工事、消費税の駆け込み需要等で職人不足がクローズアップされました。忙しい思いをしながら採算ベースに合う仕事はなかなかという年度でなかったかと思われ

ます。第30回電気工事業全国大会の席上におきまして、加南本部が長年取り組んで参りました「配電工事非常災害復旧訓練」が銀賞を頂きました。これも組合員皆様方のご協力、ご理解の賜物と感謝申し上げます。本年度は北陸電力株式会社様の第7回非常災害対応実働訓練の計画当番が小松支社とのことで、小松支社営業部配電課のご指導の下、参加協力して実施する計画を進めております。今後とも事業を継続し技術力の研鑽、安全性の向上、工法の省力化、工事班員全員が一体となりライフラインの確保に努めたいと思いますので、尚一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

先日、北陸地区電気エネルギーを考える会で「志賀原子力発電所敷地内シームの調査に関する第1回評価会合での指摘事項を踏まえた対応状況について」北陸電力株式会社石黒石川支店長のお話を聴く機会を得ました。諸課題を着実にクリアされて早期の申請に向けて努力されている現状がよく理解できました。我々も電気エネルギーについての知見を広げ、理解を深めて地域社会の中で啓発活動を行っていきたいと思います。エネルギー自給率の低い日本では原発代替の火力発電は老朽化が目立ち、予定外停電リスクも高く、火力発電燃料輸出国の世情不安も大きく燃料費の高騰が

続き日本経済にも悪影響を与えている現状です。

組合組織を挙げて原子力発電の安全性と経済性を地域社会にアピールし、志賀原子力発電所の早急な再稼動と安定供給を望むものであります。

今年度より隔年、技術の向上を通じ、お客様満足と安全・安心に電気をお届けするための電気保安確保を担う電気工事業界の発展を目的として、第1回電気工事技能競技全国大会が11月29日に東京両国国技館で各ブロックから選出された技術者により競技会が開催されます。先日、北陸大会が北陸電気工事組合連合会主催により、ポリテクセンター石川で開催され各県から選ばれた6名の技術者により競技がスタートしました。私も実行委員会のメンバーとして参加しました。最近の計測ユニットやLAN配線を取り入れた非常にレベルの高い競技会だったと思っています。結果は金賞が福井県、銀、銅賞が石川県でした。競技に参加されました技術者の皆さんご苦労様でした。また、全国大会に北陸代表として参加される方々にはより一段の努力をされ、自分の目標に向かって頑張ってくださいと思います。

広報委員会からですが、毎回「こうほう」発刊にあたり多くの皆様にご協力いただきまして有難うございます。現在テレビ金沢で2パターンのコマーシャルがランダムに放映されていますが、もう古いから、登場人物も年を重ねてきたり、構成を新しい感覚でなどいろいろなご意見が寄せられるようになりました。来春の契約更新までには限られた予算の中ですが考えて見たいと思っています。そこをお願いですがご意見、ご希望、ご提案がございましたら「こうほう」も含めてお聞かせ頂きたいと思っています。斬新なアイデアをお待ちしております。また、県青年部の皆様方のご意見、企画を重要視しておりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、暑い季節になりました。熱中症にはくれぐれも注意なされて、爽やかにお過ごし下さい。本年度も組合事業運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。新年度の挨拶とします。

新年度を迎えて

副理事長
(環境担当)

日向 捷 久



暑さ厳しき折ではございますが、組合員の皆様には、組合運営に対し、暖かいご理解ご支援を賜りまして厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年度来、労災事故が相次ぎ発生し、今年度こそゼロ災の達成を切望したものの、5月に内線工事で交通信号機球替え中、大型トラックのパネル上部と高所作業車ブーム先端部が接触し、作業員がバケットから墜落する災害が発生し、逝去する事態となりました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。組合員の皆様には、この事故を教訓に他人事とは思わず、是非、職場の安全について今一度考えて戴きたい。

電気業界を取り巻く環境は、大きく変わろうとしています。社会全体で考えれば、インターネット業界を始めとした様々な産業の発達によるエネルギー需要の増加と、企業の設備の老朽化。環境を配慮した太陽光発電を始めとするエコ商品への切換え。電気自動車普及に向けた充電施設の拡大。更には、エネルギー問題に端を発したスマートグリッド構想等（スマートメーター来年7月導入）どれも電気工事抜きには実現できないものばかりです。こうした様々な要因から、電気に関わる産業全体に追い風が吹いていますが、一方で、電気工事の仕事は増えていきますが、“電気工事士”として働く方の数は減って行くことが予想されています。「仕事はあるのに、工事をやれる人がいないのでは商売にならない」そんな時代を迎えつつあります。我々の業界も高齢化が著しく、そこで、電気工事士職人の育成が大切であり、お客様に高い品質、安心を提供できるよう教育が必要です。これから益々、電気工事士の有資格者の価値は高まります。

7月1日には、組合職員の人事異動が発令致し

ました。今回、金沢本部資材倉庫事務所、電気安全サービス金沢・小松事務所で人事異動が行われました。今後とも、本部間人事異動を推進し、職員の人材育成と職場の活性化を図り役職員一同力を合わせて組合運営に取り組んでいきますので、組合員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

外線・引込線業者の皆様には、北陸電力株式会社様のニーズが高まっていますので、これに対して、お互いに和を持ち議論を交わし、その要望に応えていかなければなりません。また、北陸電力株式会社様には、志賀原発が停止している厳しい中、ご配慮戴き着実に成果を上げることが出来たことに感謝申し上げます。これに対して、高品質達成を目差し確実な仕事をするにより社会のインフラを支えていく中で、安全第一で施工品質管理を徹底して戴きたい。志賀原発の一日も早い再稼働により電力の安定供給を望みます。

いよいよ来春、北陸新幹線が開業します。金沢は全国屈指の都市へと更なる飛躍に向かって動き出しています。新幹線の開業は、地域経済の活性化に重要な契機となることから、この機を逃さず、その効果を最大限に引き出し、我々中小企業にどのような良い影響を及ぼすのか、大いに期待するところです。

結びとなりますが、御世話になります北陸電力株式会社様には今後共御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。また、我々石川県電気工事工業組合が益々強固なものとして発達することを願い、さらに組合員、従業員並びにご家族の皆様方の安全と益々のご健勝をお祈り申し上げまして、新年度のご挨拶とさせていただきます。

安全における 「事前対策」と「事後対策」

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

川 畠 克 文



いよいよ夏の到来です。夏祭りのざわめきが感じられる季節となりました。

組合員の皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は組合事業に対して、格別なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

新年度の重点目標を「自主安全管理活動の推進」とし、細目は、「法令遵守の徹底と隠さない風土作りの推進」、「企業統治の強化による方針管理の徹底」、「安全意識高揚による労働災害の撲滅」を掲げております。

安全対策には「事前対策」と「事後対策」の二種類がある。「事後対策」は今そこにおこっている為に、金や人間を得るのは簡単です。

例えれば、事故が起きて初めてその交差点に照明、信号機を付けるような事です。

一方、事故が起こる要素をあらかじめなくしてしまい、事故そのものが起きなくなるようにする対策が「事前対策」です。

この事前対策の方がはるかに少ない費用や、人間で行うことができます。

事故を起こして会社が社会的な信用をなくし、大幅な苦境に立たされたり倒産してしまうことを考えれば、「事前対策」と「事後対策」のどちらが重要であるかは明白です。

これまで以上に平素の仕事において「事前対策」の概念を導入していくことが必要であ

ろう。

最近、講習や会議等で配布、又通達文書等で多くのカタカナ語が目につきます。

「イノベーション」「戦後レジーム」「コンテンツ」「コンプライアンス」「フォーミラ」……などなど、こうした用語をふだん使っていて互いに意思疎通ができているなら、それはそれで構わない。しかし話を聞いてもさっぱりわからない、これではコミュニケーションはとれないし、不快に感じるかもしれません。私自身「コンプライアンス」の意味を的確に理解していなかったことに気づきました。「承諾」と言うべきか、「服従」と言うべきか、「素直さ」と言うべきか。

だが日本語で表現することでその用語や、それにまつわる事柄の理解が深まり、厳密な議論ができるようになります。

「わかりやすく伝える」、非常に大事なことだと思うし、いくつもの意味にとれるカタカナ語は使用禁としたらどうかですか。

終わりにあたり組合員各位には一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、各事業所の益々のご発展繁栄をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

新年度を迎えて

常務理事兼
金沢本部長
(電設担当)

中 村 唯 夫



盛夏の候、組合員の皆様には、益々のご健勝で
ご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年度を振り返りますと、アベノミクスにより
経済対策が明るさと呼び公共投資は増加を続け、
企業の設備投資も収益が改善する中で持ち直しが
明確になりました。今年度に入り消費税増税に伴
う駆け込み需要の反動などによる一時的な停滞が
あるものの、堅調な回復が見込まれております。

先般、政府は新たなエネルギー基本計画案とし
て原発依存度を可能な限り低減させるとしながら
も「重要なベースロード電源」と位置付けし再稼
働を進める方針を示した事から、エネルギーに対
する社会の関心が一段と高まる中、一日も早い国
からの原発再稼働の許可を祈っている状況であり
ます。北陸電力株式会社様からの配電工事受注で
は、志賀原子力発電所が稼働していない大変厳し
い中、ご配慮戴き着実に成果を上げることが出来
たことに感謝申し上げます。

また、昨年度は、金沢本部新7支部執行体制で
スタートし組合員一同が「災害ゼロ」に向け諸活
動を鋭意势力的に実施してきました。しかし、残
念ながら外線工事及び内線工事作業において、労
働災害が発生しました。本年度は、心機一転し何
としてもゼロ災の達成をと切望したものの、5月
に内線業者が交通信号機球替え中、大型トラック
のパネル上部と高所作業車ブーム先端部が接触
し、作業員がバケットから墜落し1週間後にお亡
くなりになりました。災害の中でも、死亡災害は
人間の命が亡くなるわけですから、後戻りできな
い。危なかったら、この次は気を付けようでは済

まされないのです。ある日突然、全く予期しない
ことで命を落とすのは本人にとっても本当に理不
尽なことであります。今回、我々の仲間の一人
が、この様な理不尽な死を迎えられましたが、こ
のことを無駄にせず、尊い教訓として、安全に強
い職場に、みなさんの手で変えていきましょう。
それが、亡くなった方への最大のご供養になると
思います。また、これから暑い時期になりますの
で、熱中症などにならないよう健康には十分ご注
意下さい。組合関係者の皆様が更なる緊張感を持
って、安全対策を着実に実践していくことが職場
の安全を支える基本です。

来春の新幹線金沢開業に伴い、金沢市のみなら
ず石川県全体が活気づいています。金沢⇄東京間
が2時間半で結ばれるとあって、大きな波及効果
が見込まれ、観光都市「金沢」のさらなる発展が
見込まれています。しかしながら、我々も業界と
しては、消費税増税後の動向が気になりますが、
環境の変化の芽は出てきており、変化が多いとい
うことは、それだけビジネスチャンスが多いとい
うことで、その変化に柔軟に順応していきながら
変えていく必要があります。

最後になりましたが、御世話になります北陸電
力株式会社様には今後共御指導、御鞭撻を御願い
申し上げますと共に、本年度が我々の業界にとり
まして飛躍の年度になりますよう皆様方の安全と
益々のご繁栄ご活躍されますことをお祈り申し上
げまして、今年度のご挨拶とさせていただきます。



常務理事（総務担当）

野澤 和 敏

盛夏の候、組合員の皆様には益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は組合運営にあたり、格別なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は組合各本部建物の修繕工事に取り掛かります。来春の北陸新幹線開業の頃には組合会館が綺麗になる予定です。

今年も猛暑が予想され、電力不足が懸念される中、エネルギー基本計画の素案で原子力が「重要なベース電源」と位置づけられました。新基準に照らして安全性をしっかりと見極め、合格ラインに達した原発については速やかに稼働させ、国富の流出を減らしたいものです。

組合では、今年度の重点目標の一つに正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解を掲げています。原子力発電の安全を再確認し、一日も早い志賀原子力発電所の再稼働により、北陸電力株式会社様の経営理念である良品で安定した電力が供給されることを望むものです。

経済は「国土強靱化」対策や「アベノミクス効果」で徐々に上向きになってきたとはいえ、我々の業界では依然厳しい状況が続く中、安定した組合運営を図るためには、財政基盤の一層の強化を図らなければならないと考えています。総務会計担当として、組織の合理化、効率の良い運営と更なる経費の削減に努めて参ります。また、組合員の皆様と共に知恵を出し合い、安全と安心で地域社会に貢献する活力のある組合を目指して行く所存でございます。

これからの季節、炎天下での厳しい環境の中での作業が続きますが、基本ルールを遵守し、安全第一で頑張りましょう。

最後になりましたが、組合員の皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げて新年度の挨拶とさせていただきます。



常務理事（配電担当）

今出 真 稔

組合員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

いよいよ電力システム改革が具体的に動き出そうとしている今日、我々配電工事を請け負う組合組織としても時代に応じた様々な対応や取組みが必要となっておりまいました。

今後、配電工事単価の競争導入も予想されることや、中長期的には電柱更新工事を含む工事の増加が見込まれる事から組織の効率化や施工体制の強化も求められています。

その様な背景の中、北陸電力株式会社様の主導の下、「配電工事施工者の効率化・活性化に関する検討会」が設置されました。我々も会の一員として参加し、今後の課題や問題点について協議すると共に配電工事の一層の効率化と各施工会社の活性化に資する施策の検討と実施を図っていきたいと思っております。

今、まさに配電工事受注体制の転換期を迎えようとする中、慎重に議論を重ね次の世代の組合員が配電工事にやりがいと使命感を持てるような方向へと向かう様、皆様方にご意見を頂きながら努力していきたいと考えております。

我々が日々従事する工事はますます多様化・複雑化し様々な事態に即応していく事が求められている中、安全をまず最優先として企業としてコンプライアンスを重要視すると共に品質確保に努力していただくことをお願い申し上げ挨拶に替えさせていただきます。



常務理事（厚生担当）

鳥 畑 弘

初夏の候、組合員の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当組合厚生委員会では「共済会」「互助会」「労働災害」「第三者損害賠償」等、多くの共済制度に取り組んでいます。昨年度の石川県電気工事業厚生年金基金の加入状況は、前年より事業所数－6社、加入員数－15人と、減少傾向が伺えます。また、第三者賠償制度適用事故は県内において前年より＋8件の16件、内8件が誤結線・誤接続によるものでした。今一度、作業完了後の確認を徹底して頂くようお願い申し上げます。

仕事にはトラブルがつきものですが、その原因を人のせいにしては状況の改善は望めません。原因を人のせいに行っている間は「お客」であって、いつまでたっても「主役」になることはできません。

物事が順調に進まない原因は自分にあると反省し、自分を変えていくとき、私たちはその場の「主役」になることができます。主役とは、一切の責任が自分にかかっていると自覚していることを言うのです。

現状を変革するカギは、自分自身にあります。物事の行き詰まりは自分が至らぬことの反映であり、自分が変われば自ずと周囲が変わり、仕事の質が変わっていきます。自分が変われば一切が解決すると自覚して、自己を変革する実践に取り組む時、私たちの人生観は一変するはずです。

「この主役は自分だ」と胸を張れる仕事をしていきましょう。

最後に、組合員の皆様方、ご家族の皆様のご多幸を祈念すると共に、今まで同様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



常務理事（企画担当）

由 雄 一 彦

総代会も盛会のうちに終わりのよい新しい26年度のスタートとなりました。昨年より企画委員長を仰せ付かっている由雄でございます。

早いもので昨年の組合役員改選で常務理事の大役を受けることになり、理事長より「企画」担当を命ぜられ、はや一年が過ぎました。この一年常務会等で諸先輩からご指導を仰ぎながら何とか委員会を開催することができました。これも偏に皆様方のお蔭と感謝をしております。

さて、組合も多くの諸問題を抱えておりますが、企画委員会としてはできるだけ速やかに提案書を作り、常務会に上程してまいりたいと考えております。今年度の委員会の開催は最低2回ぐらいの予定をしています。まず進めたい案件は昨年度より参加の要請をいただいております石川県主催の「石川技能まつり」の中の電気工事の種目です。前回の委員会には石川ポリテクセンターより2名の電気担当者に同席をいただき説明を受けております。今年10月に開催されます「石川技能まつり」には予算の関係等もあり参加は無理かもしれませんが、今年度より全日電工連で「技能競技大会」が東京蔵前国技館で開催されます。6月4日には北陸地区の予選会が石川ポリテクセンターで開催されました。今後は「技能競技大会」を盛り上げる意味でも来年からは是非参加の方向で進めていきたいと思っております。この他には組合員の減少の問題、組合での取扱い資材の効率化、組合員の技術力の低下の問題等いろいろなことがありますが、明日に向かって健全で魅力のある組合を目指した提案をしてゆきたいと思っております。最後に、今後とも皆様方のご協力をお願い申し上げます。



常務理事（電力部長）

種 本 明 博

盛夏の候、皆様方にはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、組合業務に関して、いくら振り払おうとしても脳裏から離れてくれない案件が二点あります。

一点目は、昨年から今年にかけて労災事故が配電工事で5件、内線工事で3件と多発していることであり、組合員各員におかれましては「自らの安全は、自ら守る」ためにも事例検討と再発防止策の作業員への周知徹底を切にお願い申し上げます。

なお、なってはならない、起こしてはならない労災隠しに関して、当組合としてコンプライアンス委員会を立ち上げ、「行動規範」を制定し、継続的活動に取り組みたいと存じますのでご協力をよろしくお願い致します。

二点目は、実施間近となってきた電力システム改革への組合組織の変革対応についてであります。

第1段階（2015年～）

広域的運営推進機関（広域機関）の設立

第2段階（2016年～）

電力小売り全面自由化の開始

第3段階（2018年～）

発送電分離を予定

電力においては、第2、3段階に対応すべく検討が行われており、業界へも配電工事の活性化・効率化を求め検討作業部会が設置されたところがあります。

厳しい状況変化の中にあってはダーウィンの示唆を糧として、組織継続を第一義に検討に臨みた

いと思いますのでご支援をお願い申し上げます。

ダーウィン「種の起源」

『厳しい状況で生き残れる条件は、強いものでもなく、賢いものでもなく、環境変化に富んだものだけに許される。』

最後に夏本番となりますが、熱中症には十分に留意され、また安全第一で作業に従事されますことを重ねてお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。



第73期 通常総代会

石川県電気工事工業組合の第73期通常総代会が平成26年5月20日(火)金沢市の石川県電気工事工業組合会館で開催され、

- 平成25年度事業報告並びに財務諸表承認の件
 - 平成26年度事業計画案並びに予算案承認の件
 - 役員報酬改定の件
 - 組合加入金決定の件
 - 組合借入金残高最高限度額決定の件
 - 1組合員に対する貸付最高限度額決定の件
- などの議案が審議され、原案どおり承認された。

総代会には加南本部の東本一郎氏を議長に選出し議案審議が行われた。

米沢理事長は次のように挨拶して出席した総代の理解と協力を求め、平成25年度の事業概要を説明した。

組合員の皆様には、日頃から当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

昨年は念願とされた自民党が政権を奪還、大きな期待のもとで新政権が稼働しました。長びくデフレや円高対策に矢継ぎ早に打ち出された経済復興対策、果敢に取り組む政権の姿に政治が国民の信頼を取り戻した一年でもありました。

当業界にとって特筆すべきは年末の臨時国会に於いて電気事業法の一部改正案が成立したことであります。発送電分離は危機管理面からも不安を抱えています。私たちは電気を安全・安心に届けるというプロとしての誇りと自信の維持に加え、ベストミックスという当面する社会的課題についてさらに研鑽を重ね広く社会に提議して行かなければなりません。

さて、第30回電気工事業全国大会では、全日電工連が特色ある事業を行っている電工組の取り組みに対して、その努力と功績をたたえ広く周知するため「優良事業工組表彰」制度が創設され、第一回表彰に加南本部「配電線非常災害復旧訓練」が地域貢献事業として銀賞を受賞しました。今後は県全体・北陸三県全体の事業になることに期待



するものです。

第一種電気工事士定期講習については、平成25年度より新制度に移行し実施されました。当初、実施団体が増えることで受講者数の減少が懸念されましたが、皆様のご協力を頂き、良いスタートができました。また、当組合の念願でありました「電気工事士免状交付等業務」を6月1日より開始しました。今後もこの事業を継続することにより、組合の存在意義を大きくアピールするとともに、組織率向上につながるものと考えます。

東日本大震災を機に、エネルギー環境は大きく変貌を遂げようとしています。エネルギー問題が社会的に注目されるなか私たちはこれを「時代の風」と受け止め、新たな活路を見出す分野の一つにしなければなりません。また、電気エネルギー問題だけでなく、エネルギーマネジメントシステムやスマートコミュニティ構築等、高度化、多様化する社会のニーズに的確に対応するため潜在力の顕在化を図り社会の信頼を得ることが肝要であると思います。

我々の業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあることに変わりありませんが、これまでも取り組んできた自企業に応じた提案型技術営業の一層の展開、お客様から信頼される街の電気ドクターをめざすこと等、組合員の皆様と共にさらに「考え行動する組合」を目指してまいりたいと考えます。引き続き、一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

平成25年度 事業概要

○組合員 新加入者 4 名、脱退者 5 名、
期末において454名。

○出資総額 190,680千円、加入積立金187,349
千円、合計378,029千円。

○電力受注工事 平成25年度配電工事発注工量
計画の104.4%、前年度対比で100.9%の竣工実
績となりました。工費は2,036百万円、副資材
費722百万円、工事費合計では2,758百万円の竣
工額。

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査におい
て受託件数7,740件（計画対比109.8%）、受託手
数料21,082千円、系統連係調査において受託件
数165件（計画対比181.3%）、受託手数料651千
円、並びに定期調査において受託件数48,781件
（計画対比95.5%）、受託手数料42,307千円、調
査業務として64,040千円の実績となりました。

本 部 名	受注実施件数			受託金額（千円）		
	竣工調査	系統連係	定期調査	竣工調査	系統連係	定期調査
金沢	4,765	100	28,996	13,350	405	26,122
加南	2,975	65	19,785	7,732	246	16,185
合計	7,740	165	48,781	21,082	651	42,307

○配電工事施工品質評価実績 (単位：件、%)

評 価		工 業 組 合		
評価分類	評 価 項 目	H24	H25	前年比
発注停止 措 置	発 注 停 止	0	1	－
	厳 重 注 意	0	0	0
事故発生	災 害 発 生	0	0	0
	停電・漏油	1	0	0
安全パト ロ ー ル	重大な指摘	2	1	50
	軽易な指摘	3	1	33
竣工検査	不 良 工 事	4	3	75
	注 意 工 事	2	1	50
苦 情	苦 情 発 生	1	0	0
合 計		13	7	53

評 価		北 陸 電 工 (株)		
評価分類	評 価 項 目	H24	H25	前年比
発注停止 措 置	発 注 停 止	0	0	0
	厳 重 注 意	0	0	0
事故発生	災 害 発 生	0	0	0
	停電・漏油	1	0	0
安全パト ロ ー ル	重大な指摘	1	0	0
	軽易な指摘	0	1	－
竣工検査	不 良 工 事	3	1	33
	注 意 工 事	4	2	50
苦 情	苦 情 発 生	2	0	0
合 計		11	4	36

○**自主安全管理活** 安全管理は、「自主安全活動を推進し、安全優先の定着と「ゼロ災」の継続」を目標に掲げ取り組んできたが、平成26年1月に電柱足場ボルト設備不備による「高圧線張替作業中墜落受傷事故」、2月に「請負工事で労災事故虚偽申告」が発覚、3月に「電柱建込工事に伴う電柱荷下ろし中受傷事故」が相次ぎ発生し禍根が残る1年となりました。

過年度業態別災害事故統計では、前半の10年間は他業態の件数が多いが、後半の10年間では組合の件数が増加し、中でも当組合の災害事故が大半を占めています。

お客さま内線工事は、5ヶ年「ゼロ災」を継続していたが、「屋内電気設備工事中感電事故」、「分電盤内の切替作業中に脚立より飛降り受傷事故」の2件が発生しています。

外線工事に関する施工品質は、前年度13件から約半数となる7件に低下したが、12月に前年9月発生の労災隠しが発覚し、「隠さない風土づくり」の指弾を受けました。

引込線工事に関する施工品質は、「施工不完全な状態で長期間放置」が発覚し、発注停止となった事案は記憶に新しいところであります。

また、内線工事に関する施工品質は、一般用電気工作物竣工調査で接地不良工事が依然として高止まり状態にあるとともに、第三者賠償請求件数が過年度最高となる17件（内誤結線7件）となりました。

○**保守管理業務** 保守管理業務についての、業務受託契約件数は期首775件、期末においては740件となり、35件の減少となりました。（契約件数の内訳は官庁関係485件、民間255件であります。）

本業務はエンドユーザーとの信頼関係の中、メンテナンス分野を通して永続的な技術営業拡大につながるとの観点から、特に官公庁関係を重点的に陳情を重ねてまいりましたが、予算削減等が念頭にあるため、残念ながら一段と厳しい状況で推移したことをご報告するものであります。

○**教育・資格取得講習** 今年度から新制度による実施が開始された第一種電気工事士定期講習については、当初、講習実施団体が増えることで受講者の減少が懸念されていましたが、当組合は共同にて実施している「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」を全組合員にお願いしてきた結果、石川県では約3,300人（全国で約23万人）の皆様にご登録頂き、順調なスタートができたことをご報告致します。なお、まだ登録されていない工事士の皆様には、是非とも「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」をお願い致します。

平成25年度の石川県での講習実施は、合計6回開催し704名（金沢会場479名、能登会場225名）の方が受講されました。

○**電気工事士免状発行等業務** 電気工事士免状発行等業務については、平成25年6月1日より当組合での取扱いを開始し、組合ホームページにも掲載致しました。初年度10か月間の取扱い内容は、第一種電気工事士免状新規交付57件、第二種電気工事士免状新規交付677件、免状の書換え7件、再交付42件、合計783件、受託手数料2,568千円の実績となりました。

本事業は金沢・能登・加南の各本部が窓口として、組合員のみならず電気工事士になられる方が組合を意識し、組合の存在意義を大きくアピールすることができます。この事業を継続することにより、組織率向上に寄与するものと期待するものであります。

○**電気使用安全月間** 平成25年度電気使用安全月間運動が8月に実施され、組合役員及び青年部を中心とした独居老人宅の電気設備点検17ヶ所（羽咋市役所管内）、街路灯や地下道の清掃点検奉仕作業202ヶ所（金沢市、白山市、かほく市）、エレキスクール60名参加（小松市）及び各地域でのイベントや祭りの協賛で街頭宣伝や移動サービス相談所の開設など、電気使用安全月間PRを積極的に展開して参りました。

○**広報活動** 組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。

また、テレビCMについては、昨年に引き続き「エコ関連はお任せ下さい!」、「石川電気安全サービスは石川県電気工事工業組合の調査部門です。」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポット年間600回（Aタイム24本以上）で放映いたしております。是非ご視聴されますようお願い致します。

○**材料供給事業** 材料供給事業については、本年度642,440千円（副資材632,660千円、内線4,771千円、一般5,009千円）の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○**事業資金の貸付** 事業資金の貸付けについては、諸般の金利水準等の情勢を考慮し、貸付金利率を前渡金3.5%で運用し、その他の貸付については4.0%で運用しました。年度中に総額140,300千円を貸付しました。また、設備近代化資金や各種制度融資についても組合で指導斡旋を致しました。

○**福利厚生** 福利厚生については、年度中に組合員1名の方が他界されました。心から哀悼の意を表します。

また、例年実施しております健康診断も1,696名の方が受診されました。平成26年度も各本部で実施する予定でありますので、全員の受診をお勧め致します。

第三者賠償制度については、加入保険料18,121千円に対し、事故発生が17件（内線）、内誤結線が7件、補償費9,438千円の給付を受けました。プロの技術者集団として恥じないよう、工事に際しては細心の注意を払われるよう、各企業内の更なる技術教育の徹底をお願いするものであります。

○**全日電工連グループ共済制度** 全日電工連グループ共済制度については、現在加入組合員275社、加入員1,433名、428,200千円の契約をしております。年度中には、高度障害1件、入院1件、合計2件、946千円の給付を受けました。不慮の備えのために多数の加入をお勧め致します。

○**北陸電力持株会** 北陸電力持株会は昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで平成26年3月末会員は77名、株式数526,982株を所有しております。

北陸電力との関係を一層密にし、協力体制を確立するために、また、株式の取得を容易にできることから資産形成にも役立っております。更に多くの組合員が加入されるようお願い申し上げます。

○**青年部** 青年部は、より一層の一体感のある活動方針の下、電気使用安全月間では各本部同一日に街灯清掃やエレキスクールの開催を実施するなど、活発に活動しました。また、今年度初めて開催されます「電気工事技能競技全国大会」に向け、北陸ブロック予選会出場選手として二名が自ら立候補するなど積極的に事業参画しています。

組合の推進力となると共に、全日電工連全国青年部協議会や北陸電工連青年部連絡協議会、石川県中小企業青年中央会など、各関係団体とも連携を深め、更なる飛躍と発展を期待し、支援していく考えであります。

議案

平成25年度事業報告書

組合員事項

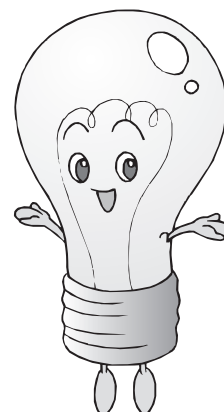
期首 455名 新加入者 4名 脱退者 5名 期末 454名

〔新加入者名〕

No.	事業所名	代表者名	所在地	本部	支部
844	マ エ デ ン	前田 哲也	金沢市新保本2丁目18番地	金 沢	犀川西
845	(株) 北 川 電 機	北川 利彦	河北郡内灘町字大根布1丁目30番地2	金 沢	河 北
846	(有)タニグチムセン	谷口 中	小松市打越町乙68番地	加 南	小 松
847	中 森 電 気	中森 秀和	金沢市瓢箪町5番19号	金 沢	兼 六

〔脱退者名〕

事業所名	代表者名	本部	支部
川 口 電 機 商 会	川 口 仁	金 沢	兼 六
島 田 電 機 商 会	島 田 博	金 沢	犀 川 東
(有) 奥 谷 電 気 商 会	奥 谷 忠 夫	金 沢	白 山
岩 田 電 設 工 事	岩 田 正 時	能 登	羽 咋
宮 前 電 気 商 会	宮 前 勤	加 南	加 賀



議案

平成26年度事業計画

昨年の我が国経済はアベノミクス効果により、デフレ脱却・景気回復の足場が築かれた一年であったと思われます。今年度も持続的な景気拡大が続くことを期待するものであります。

新しいエネルギー政策において、原子力は「安全性の確保を大前提にエネルギー需要構造の安定性に寄与する重要なベース電源」と位置付けされています。原発再稼働などエネルギーに対する社会の関心が一段と高まるなか、電気に携わる我々業界は一層の経営努力が求められます。

昨年度、配電工事では施工品質評価実績面で大幅に改善が見られたものの、労働安全衛生法違反が判明した他、高圧線張替工事中に墜落受傷した重大災害が発生しました。また、内線工事においても無資格者による感電受傷等の災害が発生しており、非常に残念な年となりました。

今年度は昨年度の反省を踏まえ、さらなる自主安全管理活動を推進し、安全優先の定着を図るとともに隠さない企業風土づくり、関係法令並びに諸工事指針等に定める規則遵守を改めて徹底する必要があります。

第30回電気工事業全国大会での大会決議で全日電工連は「環境エネルギーの調和を第一にエネルギーの新たなベストミックスを発信する、社会貢献による存在価値の向上を目指す」とあります。電気を24時間に亘り安全・安心に届けるというプロとして、新技術の習得と施工品質向上対策の積極的推進、さらには保守管理業務の促進、営業窓口分野の拡大等、地域に密着した営業姿勢に努めなければなりません。

今年度から全日電工連の新たな取り組みとして、「電気工事技能競技全国大会」が開催されます。多様化する社会の負託に応えるには従来の技術の向上に加え、次々と開発される新技術に対応できる技能を社会に向け発揮する絶好の機会です。一層の技能向上に取組、つねに地域社会の期待に応える組合でなければなりません。

多くの課題が山積しています。直ちに解決できるものではありませんが、一つひとつスピード感を持って果敢に挑戦、飛躍をめざして参りたいと考えています。

組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

重 点 目 標

1. 自主安全管理活動の推進

- (1) 法令遵守の徹底と隠さない風土作りの推進
- (2) 企業統治の強化による方針管理の徹底
- (3) 安全意識高揚による労働災害の撲滅

2. 施工品質向上対策の積極的推進

- (1) 施工者意識改革による品質確保の徹底
- (2) 施工管理の改善による作業能率の向上
- (3) 施工者人材育成教育と技能継承の強化
- (4) 内線工事不良工事通知先組合員への個別指導の強化

3. 配電工事の活性化・効率化策の検討

4. 新技術の習得・営業窓口分野の拡大

- (1) 創エネ・省エネ電化機器（200V 機器）の取付促進
- (2) 電気自動車用充電設備及びLED照明機器の取付推進
- (3) スマートグリッド及び家庭用エネルギー管理システム（HEMS）の推進

5. 保守管理業務の促進

- (1) 確実な定期点検の実施
- (2) 官公庁への強力な契約推進

6. 組合運営の活性化・労働環境の改善

- (1) 員外施工者への組合加入の促進
- (2) 環境に対する組合としての取組
- (3) 青年部活動への支援

7. 広報活動による組合員意識の啓発、地域へのPR

- (1) 組合「こうほう」誌の発行
- (2) 地域社会へ向けた組合の広報活動の促進

8. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」の支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連係、一層の緊密化

寺西さん、坂さん、今江さん、菊さん、安田さん、本村さんに知事賞 第52回 優良従業員表彰式

121名を表彰

恒例の優良従業員表彰式が5月20日(火)、総代会に先立って金沢市の石川県電気工事工業組合会館で行われた。

表彰式は今年で52回目。表彰式には谷本県知事、中村県中小企業団体中央会専務理事、西田県危機管理監室消防保安課長補佐、石黒北陸電力石川支店執行役員石川支店長ら来賓が出席、米沢理事長は「長年にわたり職務に精励し、企業と業界の発展に貢献された皆さんに敬意を表したい。これからも一層の活躍を期待している。」と式辞を述べた。

谷本県知事、中村専務理事、米沢理事長から受賞者に表彰状、記念品が贈られ、労をねぎらった。受賞者を代表して本村 淳(有川腰電気商会)が力強くお礼の言葉を述べた。

表彰を受けたのは次のみなさん。



(敬称略、カッコ内は勤務先)

石川県知事表彰(勤続30年表彰) を受賞して



坂室電機(株)
今江 政 則

この度、石川県知事表彰勤続30年表彰を賜り厚

く御礼を申し上げます。

今の会社に入社して早いもので、30年がすぎ、毎日毎日の勤務を振り返ると「光陰矢の如し」の文字通り30年が一瞬のような気がいたします。電気工事一筋に一生懸命働いてまいりましたが、大きなミスを起こすことなく務めさせていただいたのも、ひとえに社長はじめ、同僚の皆様のお力添えのおかげと感謝しております。

過ぎ去った長い年月を振り返ってみて表彰に値するような功績は何一つとして思い当たりませんがただ、自分に与えられた仕事を精一杯にやりとげることができたという働くことの喜びと充実感はしっかりとつかみ取ることができたと思っております。

これからも、微力ではありますが30年知事表彰に報いる為にも、さらなる努力に努め、期待に答えていく所存でございますので、いっそうのご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

石川県中小企業団体中央会会長表彰 (勤続30年表彰) を受賞して



米沢電気工事(株)
久田 伸 一

この度、石川県中小企業団体中央会会長表彰勤

続30年を賜り厚く御礼申し上げます。

30年を振り返ってみると、建築附帯の電気設備工事の担当者として仕事をして来ました。加賀温泉の旅館工事から始まり、大阪支店、東京支店と転勤をして、東京支店では皇族である秋篠宮家の電気工事を担当させて頂き光栄に思っています。

平成27年春には、新幹線が金沢に来ます。人、技術、情報の往来が盛んになりますし、東京オリンピック、パラリンピック開催決定など電気業界が繁栄する事を願っています。

今後も社会のため、業界のため、自分のために頑張っておりますので今後ともご指導下さいますようお願い申し上げます。



〈石川県知事賞受賞のみなさん〉

写真：後列左より、安田 正則、本村 淳

前列左より、今江 政則、寺西 政弘、谷本県知事、米沢理事長、
坂 登志幸、菊 慎吾

◆石川県知事賞

□勤続30年表彰（6名）

○能登本部（5名）

寺 西 政 弘（昇陽電機㈱）
坂 登志幸（桜井電気工事㈱）
今 江 政 則（坂室電機㈱）
菊 慎 吾（ながの電機㈱）
安 田 正 則（㈲漆原電気商会）

○加南本部（1名）

本 村 淳（㈲川腰電気商会）

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続30年表彰（3名）

○金沢本部（2名）

古 坊 英 久（米沢電気工事㈱）
久 田 伸 一（米沢電気工事㈱）

○能登本部（1名）

橋 口 淳之助（昇陽電機㈱）

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続20年表彰（54名）

○金沢本部（34名）

寺 尾 浩 昭（米沢電気工事㈱）
牧 野 剛（米沢電気工事㈱）
一 瀬 勝（米沢電気工事㈱）
斉 藤 昇（米沢電気工事㈱）
本 島 宏 修（米沢電気工事㈱）
藤 久 樹（米沢電気工事㈱）
中 村 玲（米沢電気工事㈱）
羽 場 哲 也（米沢電気工事㈱）
梶 岡 耕 一（米沢電気工事㈱）
笹 川 亮（米沢電気工事㈱）
畑 下 敏 行（米沢電気工事㈱）
陸 畑 慎 一（米沢電気工事㈱）
長 田 宏 輝（米沢電気工事㈱）
河 野 博 恒（米沢電気工事㈱）
松 裕 幸（米沢電気工事㈱）
鈴 木 克 治（米沢電気工事㈱）
安 達 勝 彦（米沢電気工事㈱）
山 下 竜 大（米沢電気工事㈱）

平 塚 武 志 (米沢電気工事(株))
東 山 誠 (米沢電気工事(株))
門 前 聡 (米沢電気工事(株))
下 秀 明 (米沢電気工事(株))
梅 木 満基雄 (米沢電気工事(株))
中 山 雅 博 (米沢電気工事(株))
渡 辺 亮 介 (米沢電気工事(株))
山 崎 秀 吾 (米沢電気工事(株))
細 川 正 和 (米沢電気工事(株))
白 鳥 達 也 (米沢電気工事(株))
河 崎 政 彦 (米沢電気工事(株))
今 村 和 久 (米沢電気工事(株))
大 沢 友 裕 (米沢電気工事(株))
田 中 康 之 (米沢電気工事(株))
喜 多 昭 市 (上村電建(株))
合 田 克 彦 (立野電気工事(株))

○能登本部 (10名)

大 高 勝 (昇陽電機(株))
端 眞 信 (昇陽電機(株))
西 野 真 嘉 (昇陽電機(株))
鳥 畑 和 靖 (昇陽電機(株))
神 谷 芳 雄 (桜井電気工事(株))
奥 矢 信 一 (坂室電機(株))
桶 屋 敏 (坂室電機(株))
宮 脇 政 信 (稲垣電機(株))
國 分 佳 英 (稲垣電機(株))
稲 荷 みゆき (珠洲電気工事(株))

○加南本部 (10名)

川 腰 栄 一 (有川腰電気商会)
中 谷 則 久 (株今出電気商会)
森 明 彦 (有)大豊電設
カスティジョ 島袋 ファン カルロス
(株上伸電機)
中 村 隆 司 (秋田電気工事(株))
高 崎 亮 (タボタ電機(株))
長 河 良 則 (タボタ電機(株))
岩 崎 慎一郎 (山口電設(株))

安 田 理 恵 (山口電設(株))
畑 中 恵 子 (石川県電気工事工業組合)

□勤続15年表彰 (29名)

○金沢本部 (16名)

赤 井 将 憲 (米沢電気工事(株))
長 田 靖 史 (米沢電気工事(株))
山 本 隆 (米沢電気工事(株))
中 村 実 (米沢電気工事(株))
北 村 大 輔 (米沢電気工事(株))
高 田 満 (米沢電気工事(株))
杉 沢 直 哉 (米沢電気工事(株))
新 田 芳 伸 (米沢電気工事(株))
竹 中 陽 平 (上村電建(株))
観 音 邦 弘 (上村電建(株))
喜 多 一 浩 (上村電建(株))
安 田 晃 (上村電建(株))
矢 本 貴 史 (立野電気工事(株))
吉 岡 秀 次 (宮島電興(株))
田 賀 雅 美 (三和電設(株))
鯨 田 純 (株オオイエ電機)

○能登本部 (8名)

加 賀 真 剛 (桜井電気工事(株))
棚 口 宏 一 (坂室電機(株))
寺 崎 恭 介 (坂室電機(株))
坂 室 幸 志 (坂室電機(株))
塚 田 直 樹 (清水電興(株))
原 田 稔 (北陸電気設備(株))
大 目 英 隆 (鳳珠電気工事(株))
盛 田 和 恵 (石川県電気工事工業組合)

○加南本部 (5名)

重 吉 英 樹 (株上伸電機)
江 川 潤 (松本電機(株))
本 谷 寿 (中谷電気工事(株))
山 下 富 男 (株北陸エレテック)
小出仙 幸 也 (株北陸エレテック)

□勤続10年表彰（29名）

○金沢本部（20名）

稲垣大輔（米沢電気工事株）
 北野翔之（米沢電気工事株）
 新谷洋介（米沢電気工事株）
 中村郁也（米沢電気工事株）
 鈴坂拓也（米沢電気工事株）
 岡村高志（米沢電気工事株）
 松本有史（米沢電気工事株）
 高田誠司（米沢電気工事株）
 村田章（米沢電気工事株）
 秋田千絵子（米沢電気工事株）
 東山雄一（米沢電気工事株）
 佐藤真澄（米沢電気工事株）
 池本成人（米沢電気工事株）
 稲谷誠（野口電気株）
 黒木聡（北陸電設株）
 河野茂（株鳴和電気商会）
 澤田友輔（桜田電気工事株）
 上田幸夫（ツボ電気工事株）
 舟橋春嗣（ツボ電気工事株）
 坪田大輝（ツボ電気工事株）

○能登本部（5名）

本田敬春（桜井電気工事株）
 清水伸治（藤井電気工事株）
 山本あずさ（北陸電気設備株）
 吉野敏行（有中谷電気工事）
 杉本直樹（株高田電機商会）

○加南本部（4名）

山本博人（株今出電気商会）
 高橋博（株北陸エレテック）
 中田隆行（株北陸エレテック）
 宮脇惇郎（東本電気株）

	金沢	能登	加南	計
知事賞30年	0	5	1	6
中央会長賞30年	2	1	0	3
理事長賞20年	34	10	10	54
同15年	16	8	5	29
同10年	20	5	4	29
計	72	29	20	121

3本部、相次いで全体会議を開催

金沢・能登・加南の3本部は、それぞれ全体会議を開き、平成25年度の活動報告及び決意を新たにして厳しい情勢下の平成26年度の組合運営・事業経営に対する重点目標を採択した。

金 沢 本 部

5月15日(木) ANAクラウンプラザホテル金沢
で全体会議開催



《感謝状贈呈》

(敬称略)

組合員として20年間組合に貢献された方
(平成5年4月1日～平成6年3月31日)

(株)アルファ電装

代表取締役 上野 朗(犀川東支部)

沢 田 電 機 (株)

代表取締役 沢田 和子(犀川東支部)

(株)ヤマムラ

代表取締役 山村 健治(犀川東支部)

ワットシステム(有)

代表取締役 和田 聡(犀川西支部)

(有)みやび電興

代表取締役 山森 修(みなと支部)

長 戸 電 気 商 会

代 表 長戸喜久男(白山支部)

(株)松村商会

代表取締役 松村 洸(河北支部)

山 田 家 電 (株)

代表取締役 山田 博彦(河北支部)

《表彰状贈呈》

[省エネ電化及び省エネ機器普及活動表彰]
(敬称略)

・最優秀賞(理事長賞) 1社

(株)今一電気商会

代表取締役 今城 清一(河北支部)

・優秀賞(金沢本部長賞)

省エネ電化部門 2社

山 田 家 電 (株)

代表取締役 山田 博彦(河北支部)

大 竹 電 機 (株)

代表取締役 大竹 成和(白山支部)

省エネ機器部門 2社

米 沢 電 気 工 事 (株)

代表取締役 米沢 寛(犀川西支部)

(株)明生電気商会

代表取締役 中村 唯夫(西部支部)

・奨励賞(環境部長賞)

省エネ電化部門 3社

(株)鳴和電気商会

代表取締役 宮下 誠次(兼六支部)

(株)松明電設

代表取締役 干野六月夫(白山支部)

(株)鶴来電気商会

代表取締役 結城 敬二(白山支部)

省エネ機器部門 3社

(株)柚木商事

代表取締役 柚木 賢(みなと支部)

中 京 電 設 (株)

代表取締役 中山 和彦(白山支部)

(有)メイリョウ商事

代表取締役 山田 紘行(河北支部)

努力賞

2社

(有)フタクチ電設工業

代表取締役 二口 勝博（河北支部）

(有)沢田電興社

代表取締役 澤田 真一（河北支部）

《平成26年度 事業計画》

「ゼロ災の達成と良質な施工」

重点目標

(1) 労働災害の防止

「法令遵守の徹底と災害の撲滅」

スローガン

関係法令・企業倫理など、ルールを常に遵守しよう!!

基本動作・基本作業を忠実に実施しよう!!

行動目標

地域から信頼される企業であるため、従業員一人ひとりがコンプライアンスを徹底し、常に正直で誠実な行動に努める。

(2) 経営基盤の安定化

- ・ 省エネ電化など時代の要請に即応できる技術力の向上と人材の育成
- ・ 提案型技術営業の新展開により、お客様に感動を提供する技術集団をめざす
- ・ 電気工事組合未加入業者対策

(3) 電気工事の施工品質の向上

- ・ 不良通知先組合員への個別指導強化による内線工事施工品質の向上（接地不良、絶縁不良工事の撲滅）
- ・ 工事技術の向上により 第三者損害賠償事故

の撲滅

- ・ 第1回電気工事技能競技全国大会積極的参加
- ・ 共同保守管理業務における点検調査の完全励行

(4) 配電工事施行体制の強化

- ・ 企業統治（ガバナンス）強化による外線・引込線の工事技術の向上
- ・ 自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人材育成教育の充実と技能継承の強化

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・ 「製・販・工需要開発会議」の継続実施
- ・ 保守センター業務処理の迅速な対応とフォロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・ 環境関連の提案型技術営業の推進
- ・ エコキュート等200V機器の販売取付け促進と200V配線の普及
- ・ 防犯灯のLED普及促進
- ・ 電気自動車（EV）用の充電コンセント設置工事の普及
- ・ HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）の推進

(7) 地域社会への貢献

- ・ 電気使用安全運動に於ける一般需要家に対する効果的なPR活動
- ・ 防災復旧訓練の実施

(8) 広報活動による組合員意識の啓発、PR

- ・ 金沢本部ホームページのリニューアル



能登本部

4月14日(月) 和倉温泉「加賀屋」で開催



感謝状贈呈

組合員として20年間組合に貢献された方
(平成5年4月1日～平成6年3月31日の間に
組合加入)

(敬称略)

うえの電器 上野 利明

表彰状贈呈

需要開発最優秀賞表彰(エコキュート等
200V電化機器の販売促進貢献) (敬称略)

・最優秀賞(理事長表彰)

昇陽電機株 卷 亜洲夫

◆基本目標

安全衛生 「自主安全管理活動による「ゼロ災」
達成と隠さない風土作りの推進」
施工品質 「施工意識改善活動による品質確保
と、作業の効率化・活性化の向上」

◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施
- (2) 組合互助会・第三者損害賠償事故などの撲滅
- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害及び交通事故防止の対策強化

3. 配電工事技術の向上と不良工事の撲滅

- (1) 配電工事新技術・工法及び新作業手順の的確な対応
- (2) 配電請負工事の施工者評価制度の管理徹底
- (3) 自主検査・後見点検の徹底によるヒューマンエラーの撲滅
- (4) 自主・交差パトロール時での的確な助言と指導事項等の徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得等の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 施工証明書の活用と提案型技術営業への構築
- (4) 施工品質向上に向けた取り組みと接地不良工事の撲滅

5. 電気設備保守とPRの推進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) オール電化機器の販売促進
- (3) 「お客さまサービス店」(通称eドクター)加盟及び協力
- (4) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所等の設置

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 「工組能登」の発行及び組合のPR
- (2) 組合活性化及び電気使用安全月間のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

目指そう!!「ゼロ災の継続と良質な施工」

加 南 本 部

5月14日(水)

加賀市山代温泉「ゆのくに天祥」で開催



5月14日 加賀市山代温泉「ゆのくに天祥」大会議室において、米沢理事長、種本電力部長らのご出席の下開催されました。組合員64名が出席しました。

席上、組合員として20年間組合運営に貢献されて来られた

津波倉電気設備工事 代表 津波倉義男

宮下電気商会 代表 宮下 勇

山田電気工事 代表 山田 昭雄

以上3氏に米沢理事長から感謝状が贈られました。

次に、平成25年度においてエコキュートなど省エネ機器の拡販推進優秀事業所の表彰式が行われ、西川電気工事(株) 代表取締役 西川広美氏に表彰状と副賞が贈られました。

平成26年度重点目標

1. 自主安全管理活動による「ゼロ災」の達成と隠さない風土作りの推進
2. 配電工事の施工品質の確保と作業能率の両立
3. 内線工事後見点検の完全実施による不良工事の撲滅（特に計器装置工事と接地工事）
4. 災害時の迅速な対応と体制の強化
5. 経営力の強化と各種講習会の積極的な参加
6. 第一種、第二種電気工事士試験準備講習会の実施と資格取得
7. エコキュート・IHCH・ヒートポンプ式温水床暖房等省エネ電化機器の拡販
8. 点検業務受託事業の契約拡大と点検の完全実施
9. 環境関連の提案型技術営業の推進
10. 福利厚生諸制度研修会の開催
11. 分離発注の拡大と施工品質の向上
12. 地域行事への積極的参加と地域情報の収集



電気使用安全月間行事

◇金沢本部

街路灯清掃

金沢本部青年部長 大地 正喜

恒例となりました百万石通りの街路灯清掃を去る5月31日(土)早朝に青年部員23名が参加しました。19回目となる今回は、金沢市役所側の街路灯清掃を止め、しいのき迎賓館側の百万石通りと兼六園と金沢城公園の間のお堀通りにある街路灯47基の清掃を行いました。出動式には来賓として宮崎相談役、中村本部長を始め本部役員の方々と金沢市からは山野金沢市長も参加され挨拶を頂き

ました。

その後清掃班と分電盤の点検班の8班に分かれ、道路脇に落ちているゴミも拾いながら、約1時間作業を行いました。



◇能登本部

〈今後の行事予定〉

- サービス相談所の開設（定置）
日時：平成26年 8 月 1 日（金）～ 8 月31日（日）
9：00～16：00
場所：当組合 能登本部会館
「平日のみ開催／14日（木）～17日（日）は盆休及び休日、29日（金）は移動相談所開設につき開催しない」
- 小学生を対象としたエレキスクール（能登青年部）
日時：平成26年 8 月 9 日（土）
9：30～11：30
場所：当組合 能登本部会館
- 一人暮らし高齢老人宅無料配線工事のボランティア活動（能登青年部）
日時：平成26年 8 月29日（金）
9：00～12：00
場所：七尾市役所管内
- サービス相談所の開設（移動）
七尾市広報誌（ななおごころ）に掲載予定
日時：平成26年 8 月29日（金）
9：30～12：00
場所：七尾駅前第2再開発ビル
「ミナ・クル」2F
七尾市役所・市民課前通路
- 新聞広告（北國、北陸中日、読売／折り込み広告）
日時：平成26年 8 月29日（金）
内容：「サービス相談所の開設（移動）」の案内、電気使用安全月間のPR等
（地元組合員名を掲載）
対象地域：七尾市役所管内
- キャラバン隊による巡回PR
日時：平成26年 8 月29日（金）
9：30～
場所：七尾市役所管内（公民館及び保育園等公共施設）
内容：電気使用安全月間のPR等
- 工事現場等パトロールによる指導（内線安全部

会／各支部）

日時：平成26年 8 月 1 日（金）～ 8 月31日（日）
9：30～

場所：当組合能登本部組合員の作業現場等
「担当者一任／盆休〔14日（木）～17日（日）〕以外の平日」

◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- | | |
|-------------------|--|
| 7 月 1 日 | 組合員に運動のポスターの配布、（組合員の店頭に掲示）、併せて昨年度実施した電気使用安全月間ポスターコンクールで最優秀賞になった作品を配布 |
| 7 月上旬 | 大型看板を更新、会館に設置。省エネ機器推進の看板も設置 |
| 7 月上旬～中旬 | 管内 3 市 1 町に電気用安全月間の趣旨説明と上記ポスターの配布 |
| 8 月上旬 | 文化財等の電気設備点検 |
| 8 月 9 日（土） | 「エレキスクール in 能美市」（能美市内児童60名）児童への電気使用安全のPR |
| 8 月 9 日（土）～10日（日） | 白山登山で電気使用安全と節電・省エネ活動のPR |
| 8 月中 | 車両による巡回PR、チラシ・リーフレット・うちわの配布 |
| 8 月中 | サービス相談所の開設（組合会館内） 節電・省エネに努めましょう。電気を安全に。 |
| 8 月中 | 「電気使用安全児童ポスターコンクール」管内児童から月間をPRするポスター募集 |
| 8 月中 | 作業現場の安全パトロールの実施、安全点検・電気災害防止PR |

◆◆◆◆◆ 各本部だより ◆◆◆◆◆

金 沢 本 部

- 1月9日 青年部役員会
・経営講習会について
・他
- 1月14日 新加入者教育
- 1月15日 労保連事業主説明会
- 1月21日 内工研幹事会
- 1月23日 厚生部会
安全協力会パトロール
- 1月28日 安全・配電合同委員会
- 1月29日 全体会議
本部役員会
1. 全体会議について
2. 各支部・各部会からの報告
3. その他



- 2月5日 青年部役員会
・新入部員勧誘について
・総会について
・他
青年部経営講習会
- 2月6日 安全部会
- 2月12日 内工研大研修会白山会場



- 広報部会
- 2月14日 内工研大研修会金沢会場
- 2月15日 技術部会
- 2月17日 経営部会
- 2月19日 内工研大研修会津幡会場
- 2月20日 経営者の為の健康確保
- 2月21日 本部役員会
1. 新加入者について
2. 平成26年度重点目標ポスター作成
3. 内線工事施工者の方へお願い
4. 省エネ電化・機器普及活動実績
5. 普通免許で中型車運転注意について
6. その他
組合員の動静
7. 各支部・各部会からの報告
- 2月25日 安全部パトロール
- 2月26日 電気保守委員会
- 3月10日 青年部役員会
・総会について
・他
- 3月18日 経営部会
- 3月19日 配電委員会
- 3月24日 本部役員会
1. 施工者認定申請取扱細則について
2. 金沢本部全体会議について
3. 第二種電気工事士（筆記試験）受験準備講習会
4. ESCO事業について
5. その他
・組合員の動静
・省エネ電化・機器普及活動実績（環境部）
6. 各支部・各部会からの報告
- 3月25日 外線事業主会議
- 3月29日 青年部役員会
・総会について

・他

4月1日～21日
労働保険年度更新手続き

4月2日 安全協力会委員会
足場ボルト点検説明（外線）

4月5日 青年部総会

4月10日 配電事業主会議
安全協力会理事会

4月11日 外線・引込線合同会議
足場ボルト点検説明（引込線）

4月18日 環境部会

4月23日 金沢本部役員会
1. 新加入者審査
2. 全体会議について
3. その他
組合員の動静
監事会

5月9日 青年部役員会
・百万石街路灯清掃について
・他

5月10日～11日
第二種電気工事士（筆記）講習会



5月13日 外線部会

5月15日 全体会議
役員会議
1. 全体会議について
2. その他

5月17日～18日
第二種電気工事士（筆記）講習会

5月23日 外線部会

5月24日～25日
第二種電気工事士（筆記）講習会

5月27日 環境部会

5月31日 百万石通りお堀通り街路灯清掃



6月2日 新加入者教育

6月3日 環境部 HEMS 研修会
電気安全協力会委員会

6月6日 電気安全協力会研修会

6月9日～12日
計測器照合試験



6月10日 青年部委員会

6月23日 外線部会

6月27日 本部役員会
1. 労災事故発生について
2. 新加入者について
3. 組合安全大会について
4. 通知業者特別教育研修会について
5. （県）電設委員会報告
6. （県）広報委員会報告
組合コマーシャルについて
7. その他
8. 各支部・各部会からの報告

6月28日 青年部技術講習会

能登本部

1月6日～31日

計測器等の照合試験及び絶縁用防保護
具耐電圧試験

トルクドライバー 47台／不良2台

絶縁抵抗計 65台／－

接地抵抗計 34台／不良1台

1月15日 電気自動車等の充電設備設置に係る補
助説明会（於：金沢） 5名

1月20日 第2回全体会議（新年会）（於：和倉
温泉／加賀屋） 48名

1）平成25年度上期・第3／四半期事
業報告について

2）平成25年度第4／四半期事業運営
諸般について他

電気エネルギーを考える会懇話（於：
和倉温泉／加賀屋） 48名

講師：北陸電力株式会社七尾支社

営業部長 寺分 博 氏

1）志賀原子力発電所敷地内シームに関す
る追加調査の最終報告等について 他



消費税転嫁対策説明会

（於：和倉温泉／加賀屋） 48名

講師：濱田小弥太税理士事務所

副所長税理士 濱田 健司 氏

1）消費税改正の要点

2）消費税転嫁対応について 他

1月31日 労働災害発生時に於ける法令順守教育
（於：七尾勤労者総合福祉センター）

64名

講師：七尾労働基準監督署監督・

安衛課労働基準監督官

福田 洋一 氏

1）労働災害発生報告の必要性について

2）最近の事故事例紹介 他



最新の省エネ機器紹介

（於：七尾勤労者総合福祉センター）

64名

講師：(株)北電リビングサービス七尾(営)

営業課営業チームリーダー

坂本 弘一 氏

電気設備メーカーによる節電対策説明会

（於：七尾勤労者総合福祉センター） 64名

講師：パナソニック(株) エコソリューション

ズ社 中部電材営業部北陸電材営業所

電材営業課 井上 和也 氏

土本陽太郎 氏

1) スマートハウスの動向
 [家全体のエネルギーを「みえる化」で省エネ生活支援]

2) スマートHEMSの説明 他
 * HEMS (ホームエネルギーマネージメントシステム)

2月3日 配電管理者研修会 (於: 県本部)
 安全管理指導員

2月4日 (株)泉精器製作所製圧縮工具定期点検
 (於: 輪島・珠洲) 配電工事施工者

2月5日 (株)泉精器製作所製圧縮工具定期点検
 (於: 七尾・羽咋) 配電工事施工者

2月6日 タブレット説明会

2月7日 七尾木造建築安全推進協議会総 (於: 七尾労働基準協会) 内線安全部長

2月8日 第三者損害賠償制度事故調査委員会
 電設保守担当 他
 1) 第三者損害賠償制度適用申請に伴う事故調査について 他

2月10日～3月10日
 電気工事事業法遵守状況調査
 当該支部総代 他
 対象調査地域: 鹿島郡中能登町
 調査件数: 組合員8件、部外者9件

2月15日～21日
 絶縁用防保護具耐電圧試験
 配電工事施工者

2月19日 七尾内線工事研究会研修会
 穴水会場 (のとなふれあい文化センター)
 22名

2月20日 不良工事撲滅教育 5社/6名



七尾内線工事研究会研修会
 七尾会場(七尾勤労者総合福祉センター)
 43名

安全協力会七尾活動部交通安全研修会
 (於: 七尾商工会議所) 4名

2月25日 検満施工者会議 (於: 電力七尾)
 検満施工者

2月26日 経営改革中能登地区セミナー (於: 中能登土木総合事務所) 5名

2月28日 安全協力会七尾地区本部各活動部との
 合同パトロール 委員 他

3月4日 配電工事施工者会議
 1) 配電工事進捗状況について
 2) 施工品質指摘・災害発生に伴う類似事象の再発防止について 他

3月5日 北陸電力(株)配電工事社給品臨時棚卸
 常務会 (於: 県本部) 本部長 他
 企画委員会 (於: 県本部) 委員

3月6日 労働保険年度更新説明会 (於: 金沢)
 事務担当者

3月7日 配電課長会議 (於: 県本部) 配電課長

3月11日 配電工事特別安全パトロール
 (能登本部管内へのパトロール)
 外線工事作業現場 3件
 引込線工事作業現場 6件
 配電・安全指導員 他

3月15日 技術経営部会議
 1) 平成25年度第二種及び第一種電気工事士受験準備講習会の反省について
 2) 平成26年度第二種及び第一種電気工事士受験準備講習会開催企画について 他

無停電機材取扱者認定教育(於: 県本部)
 9名

3月19日 配電委員会 (於: 県本部) 委員 他

3月20日 支部長会議役員会議
 1) 平成25年度第4/四半期事業報告及び予定等について
 2) 平成26年度全体会議 (定時総会) 開催日程等について 他

企画広報部会議

1)「工組能登」第71号〔総会特集号〕
の発刊について

2)「工組能登」第71号〔総会特集号〕
の原稿募集について 他

総務委員会（於：県本部） 委員 他

3月25日 優良電気工事業者表彰式（於：富山）
表彰受賞者

3月26日 無停電機材取扱者認定更新教育 9名

3月27日 高圧ケーブル接続技能講習会

4月1日～15日
労働保険年度更新業務 73社

4月4日 支部長・本部幹事合同会議
（事業活動審査会）

1)平成25年度事業活動審査について 他
支部長会議役員会議

1)平成26年度全体会議（定時総会）
議案審議について

2)平成26年度全体会議の役割分担に
ついて 他

能登青年部総会（於：和倉温泉／寿苑）
七尾支部長

4月10日 配電工事業業主会議（於：金沢）
配電工事施工者 他

4月14日 全体会議（定時総会）（於：和倉温泉
／加賀屋） 57名



1)平成25年度事業報告

2)平成25年度事業計画(案)承認の件

4月18日～25日
間接活線工具・電線離隔器耐電圧試験
外線工事施工者

4月21日 北陸電気工事組合連合会厚生委員会
（於：福井） 委員

4月23日 監事会（於：県本部） 監事

4月28日 配電工事施工者会議

1)平成26年度提示工量について

2)配電工事施工品質評価の現状と再
発防止策の徹底について

3)施工資格変更に伴う引込線担当管
理区の変更について 他

5月2日 配電課長会議（於：県本部）配電課長

5月8日 組合加入試験委員会／常務会
（於：県本部） 本部長 他

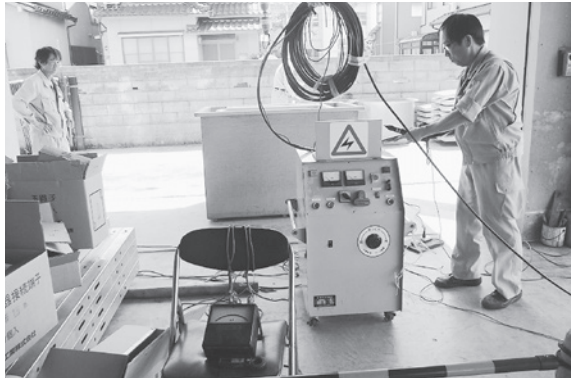
5月12日 北陸電気工事組合連合会監事会
（於：富山） 監事

5月12日～30日
第二種電気工事士（筆記）受験準備講
習会 9名



5月13日～28日

高所作業車（バケットライナー、第3
ブーム）耐電圧試験 13社29台



5月14日 七尾木建安全推進協議会木造家屋建築
現場パトロール 内線安全部長

5月16日 役員（理事）会（於：金沢）
本部長 他

5月20日 優良従業員表彰式／総代会（於：県本部）
受賞者29名／総代17名

5月22日 外施工事施工者会議
1）平成26年度配電工事の概要
2）大規模工事における施工力強化の
進め方について 他

5月23日 石川県電気安全協力会七尾地区本部推
進委員会（於：電力七尾） 委員 他

5月26日 配電委員会（於：県本部） 委員 他

5月27日～29日
配電工事施工者新入社員教育（於：金
沢） 4社／6名

5月28日 電気関係功労者表彰式（於：金沢）
受賞者

6月2日 北陸電気工事組合連合会通常総会・理
事会（於：富山） 監事 他

6月3日 広報委員会（於：県本部） 委員 他

6月4日 青年部ボランティア活動趣旨説明会
（於：七尾市） 七尾支部長 他

6月9日 技術経営部会議
1）第二種（技能）及び第一種電気工
事士（筆記・技能）受験準備講習
会開催企画について

2）羽咋工業高校第二種（技能）及び
第一種電気工事士（技能）受験に
関わる講師派遣要請の対応につ
いて 他

配電・安全委員会（於：県本部）

委員 他

6月10日 石川県電気安全協力会七尾地区本部理
事会（於：電力七尾） 理事 他

6月11日 北陸地区電気エネルギーを考える会総
会（於：県本部） 監事 他
厚生年金基金理事会・代議員会
（於：県本部） 理事

6月12日 七尾内線工事研究会幹事会（於：電力
七尾） 幹事 他

6月13日 七尾内線工事研究会委員会（於：電力
七尾） 委員 他

6月17日 石川県電気安全協力会七尾地区本部推
進委員会（於：電力七尾） 委員 他

6月18日 配電工事作業手順書説明会（於：富
山） 配電課長

6月19日 電設委員会（於：県本部） 委員 他

6月20日～27日

仮設開閉器耐電圧試験（本体とリード
ケーブル及び電線隔離器用ケーブル）

6社14式

6月24日 支部長会議安全衛生大会企画取組み検
討会議

1）安全衛生大会企画開催の対応につ
いて

2）能登本部運営諸般について 他
安全講習会

（於：七尾勤労者総合福祉センター
[ワークパル七尾]）

講師：㈱アイチコウポレーション担当者

1）高所作業車の取扱い（操作）研修
2）過去の災害事例
3）法令教育（労働安全衛生法・道路
関係法令等）

加南本部

- 1月6日 組合業務仕事始め
- 1月8日 安協新年安全祈願祭
日吉神社 8:50 江沼神社 9:00
組合安全祈願祭 10:20
新年顔合わせ・挨拶廻り
- 1月15日 第一種電気工事士技能試験合否発表
加南本部講習受験者 8名
試験合格者 7名 87.5%
- 1月18日 加南本部新年全体会議
16:00～ 出席者62名 のとや
講演会 「労働災害発生時における法令遵守の徹底について」
講師 小松労働基準監督署
次長 平山 和彦 様



- 1月23日 トルクドライバー校正試験（加賀支部）
試験本数 40本
不良数 1本 竹内電気事務所内
- 1月27日 安全・委託合同委員会 18名
高圧線張替え中墜落受傷の再発防止について
- 2月3日 安全管理指導員研修会 村井配電課長
- 2月7日 圧縮工具圧力試験メーカー点検
外線・引込業者
- 2月21日 小松支部総会・電気エネルギーを考える会 一浪
「志賀原発敷地内シームに関する最終報告について」
講師：北陸電力小松支社長
中田 一夫 氏

- 2月24日 「経営セミナー」省エネ研修会 15名
ゼロエネ住宅・電気自動車充電設備・HEMS設備について
講師：パナソニック(株) エコソリューションズ社



- 3月1日 加賀会総会・電気エネルギーを考える
長生殿
「志賀原発敷地内シームに関する最終報告について」
講師：北陸電力小松支社 総務担当
課長 垣本 助徳 氏



- 3月3日～6日
配電施工者活線防保護具耐圧試験
- 3月4日 第7回執行部会 運営諸般について
- 3月11日 配電工事特別安全パトロール 能登方面
- 3月12日～13日
足場ボルト点検説明会 配電施工者
- 3月13日 谷本県知事候補遊説演説会
組合・電力・電材屋関係含め105名参加

3月18日～20日	間接活線工具耐圧試験		5月14日	平成26年度全体会議	
3月20日	資材棚卸			山代温泉「ゆのくに天祥」	64名
3月25日	電気記念日 平成25年度優良電気工事業者表彰（電気安全北陸委員会）			・平成25年度の事業報告並びに活動費決算報告	
	道券電気 代表 道券 哲夫 氏			・平成26年度の事業計画並びに活動費予算案の件	
4月6日～15日	春の全国交通安全運動		5月21日	配電工事非常災害復旧訓練打ち合わせ	10名
	職員交通安全誓願文提出		5月21日	第1回委託委員会	
	（4/8）春の全国交通安全運動			・平成26年度 配電施行計画について	17名
	交通安全Wフラッグ作戦に参加		5月22日	技術委員会 ものづくりコンテスト打ち合わせ	大川先生・多保田委員
4月11日	第1回執行部会 運営諸般について		5月23日	交通安全研修会	31名
4月13日	青年部定時総会		5月27日	厚生年金基金の現状と法改正による今後の選択肢について	22名
	伊切町「志麻」	15名	5月27日～29日	配電工事新入社員教育 県本部	
4月16日	活線認定講習会	3名	5月28日	第2回執行部会	
	講師：田中金沢配電課長			運営諸般について	
	村井加南配電課長		6月5日	安全協力会総会	
4月17日	小松支社配電工事工量提示			13：00～14：30	こまつドーム
4月17日	第1回総務委員会			内工研研修会	
4月18日～5月23日	安全標語募集	安全委員会		14：30～17：00	こまつドーム
4月21日	第1回役員会		6月12日	第1回安全・災害対策合同委員会	
	組合運営諸般について	18名		事業計画について	16名
4月21日	第1回委託委員会			安全標語募集は64件の応募作品の中から、最優秀賞に片岡良悟さん（株今出電気商会）の作品に決定しました。	
	・平成26年度事業計画について	11名		『基本ルールを第一に！守る勇気と続ける努力』	
4月21日～5月1日	仮設GS耐圧試験	6台	6月13日	第1回広報厚生委員会	
4月24日	トルクドライバー校正試験（小松支部）	75本（不良0本）		事業計画について	10名
4月24日～25日	内線施工者防保護具耐圧試験		6月16日	第3回執行部会	
5月7日～5月30日まで 16日間	第二種電気工事士筆記試験準備講習会	19名	6月21日	第63回北電工組ゴルフコンペ	28名
	講師：技術委員、青年部委員		6月28日～29日	青年部研修旅行「三菱みなとみらい技術館」	
5月8日～16日	労働保険年度更新手続き	53社	6月29日	クリーンビーチいしかわin小松	
5月12日～16日	高所作業車耐圧試験	20台		小松支部	小松安宅海岸
5月12日～16日	圧縮工具圧力試験				

◆◆◆◆◆ 青年部だより ◆◆◆◆◆



『青年部は一つ！』

県青年部長

山 内 謙 一

組合員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は青年部活動に関し、ご協力とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

35ページに特集記事が組まれていますが、6月4日に電気工事技能競技北陸大会が行われ、青年部の嶋田愛彦君、高桑寛治君の両名が参加し、高桑君が銀賞、嶋田君が銅賞を受賞しました。高桑君は11月に行われる全国大会に出場します。青年部としても大変喜ばしいことであり、寸暇を惜しまずバックアップをしていきます。

さて、青年部は昨年度に引き続き一体感のある活動方針の下、『横』の連携をとりながら、様々な活動を行っていきます。ひとつは、電気使用安全月間の活動としまして8月9日に、パナソニック様のご協力の下、小学生の親子を対象としたLEDランプを使用した工作作り、また電気についての勉強会という目的でエレキスクールを開催します。（金沢本部―組合会館、能登本部―七尾組合事務所、加南本部―能美市ふるさと交流研修センターさらい）3本部が同一日に同一事業を行うことは初めての試みであり、組合活動として対外的に大きくアピールが出来ると考えています。

また、来年1月には北陸電工連青年部連絡協議会主催の行事ではありますが、北陸ブロックの青

年部員が一同に会する『第一回会員大会』を石川県青年部が主体的役割を担い、金沢で開催します。各県・各本支部の青年部間の『横』の連携、ネットワークの強化を図ることを目的としています。詳細については現在調整中ではありますが、一つの企画として我々の次世代を担う電気科の工業高校生達との意見交換会を考えております。彼らに電気工事業界を啓蒙・アピールすることは、彼らの「不安」や「悩み」を解消することにつながり積極的にわたしたち電気工事業界に就職してもらえるようにまた、県内の電気工事会社就職してもらえることを期待しています。技術者不足が叫ばれている中、各事業所の新入社員の受け入れ体制や育成方法などの一助になればと思っています。また、2月頃には青年部主催の製・販・工の交流事業として、ボーリング大会も計画しております。また、組織の活性化としては、各本部の中で趣味の合う仲間たちの交流として、色々な同好会も作っていきたいと思っています。

そうすることにより、より強い絆が生まれ、私たち業界もいい方向に進み業界の活性化につながっていくことを期待しています。

最後となりますが、青年部一同、一丸となって頑張っていきますので、相変らぬご指導、ご協力を宜しくお願い致します。

第一回電気工事技能競技北陸大会

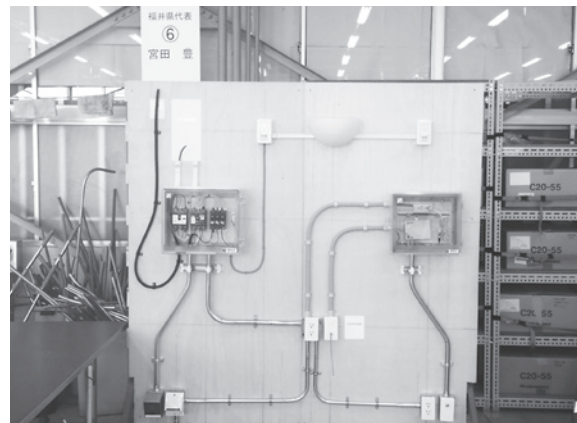
北陸電気工事組合連合会の主催により、平成26年6月4日(水)、石川職業訓練支援センター（ポリテクセンター石川）にて、電気工事技能競技北陸大会が行われた。この大会は電気工事技術者の資質ならびに技術水準の向上を通じ、お客様満足と安全・安心に電気をお届けするための電気保安確保を担う電気工事業界の発展に寄与することを目的に初めて開催された。

各県から2名の代表が出場し、学科競技（30分）と技能競技（180分）で争われた。学科競技

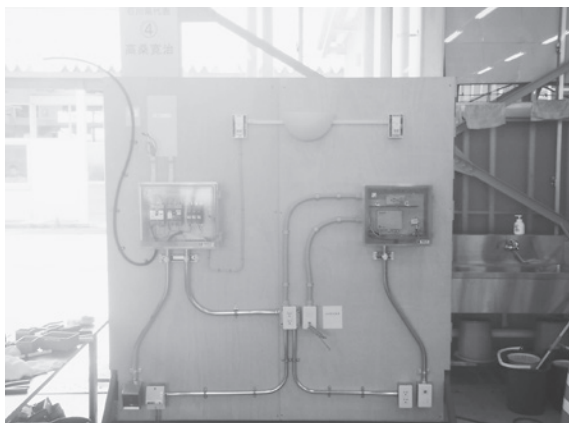
では第二種電気工事士試験相当の問題（四者択一方式）20問が出題された。技能競技では作業板（幅1800mm×高さ1800mm）上に競技課題に基づいて配線工事が行われた。採点の結果、金賞（1位）は宮田 豊氏（福井県 谷電）、銀賞（2位）は高桑 寛治氏（石川県 ㈱城南電設）、銅賞（3位）は嶋田 愛彦氏（石川県 ㈱リョウ）となった。金賞の宮田氏と銀賞の高桑氏は、11月に東京・両国国技館で行われる第一回電気工事技能競技全国大会に出場する。



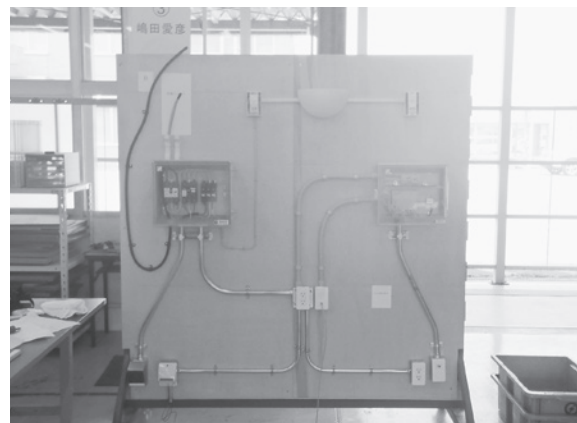
（左から銅賞 嶋田氏、金賞 宮田氏、銀賞 高桑氏）



金賞 宮田氏の作品



銀賞 高桑氏の作品



銅賞 嶋田氏の作品

『平成26年度 新任班長教育』が実施されました

去る5月23日(金)、新任班長教育実施要領に基づき、教育を実施しました。

講師は、当組合電力部長、安全部長、金沢本部配電課長が務め、受講生は県内16社から28名の方が参加されました。今後、各職場において研修成果を活かした活躍を期待します。

記

- I. 開催日時** 平成26年5月23日(金)
8:30～17:30
- 開催場所** 石川県電気工事工業組合会館
4階研修室
- 主 催** 石川県電気工事工業組合
- 受講者数** 16社28名
(金沢本部4社7名、能登本部6社10名、加南本部6社11名)
- 講 師** 県 本 部 種本電力部長
白崎安全部長
金沢本部 田中配電課長

II、教育内容 学科(8時間))

安全管理・品質管理、工事の流れ、受注から清算まで、班長としての心構え、班員に対する指示・指導方法、人の動かし方、異常時・災害発生時の措置等、新任班長に求められる、管理職としての自覚の醸成、班員指導力の向上を図ることを目的とし実施した。

III、受講生の主な感想

- ◇ 班長としての責任や人材育成教育の重要性について理解を深めた。
- ◇ 安全に対する意識づけ、責務の重要性及び立場について再認識した。
- ◇ 研修は色々な情報が聞けるので定期的な開催を希望する。



『平成26年度 新入社員教育』が実施されました

去る5月27日(火)から5月29日(木)の3日間、新入社員教育を実施しました。講師に北陸電力(株)石川支店から2名、当組合からは班長及び職員の11名が講師を務めました。

受講生は県内13社から24名が参加し、新入社員の基礎的な知識・技能のレベルの統一ならびに向上を目的に実施しました。

米沢電気工事(株)

山本配電課長

(株)鳴和電気商会 本田班長

(株)鳴和電気商会 西岡班長

稲垣電機(株) 田上班長

(有)漆原電気商会 安田班長

山口電設(株) 岩崎班長

中谷電気工事(株) 宮崎班長

記

I. 実施日 平成26年5月27日(火)～
6月29日(木)

実施場所 石川県電気工事工業組合会館及び
実技訓練場(株)鳴和電気商会)

主 催 石川県電気工事工業組合

受講者数 13社24名
(金沢本部6社12名、能登本部
4社6名、加南本部3社6名)

講 師 <外部講師>
北陸電力(株)石川支店
配電工事課運営担当
本庄副課長
お客様サービス課
松田副課長

<組合講師>
県本部 種本電力部長
白崎安全部長
金沢本部 田中配電課長
能登本部 西浦配電課長

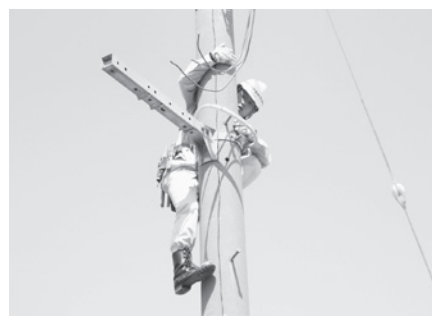
II. 教育内容 学科(8時間)、実技(15時間)

学科では、受講態度を含め「お客さま対応マナー」を最初に講義し、社会人としての礼儀について教授した。

実技については、昇柱訓練と簡易な工事に重点を置いた内容に改め、時間も多く分配し実施した。

III. 受講生の主な感想

- ◇ ロープの結び方や昇柱訓練のような基本の習得が良い経験になった。
- ◇ 昇柱訓練の待ち時間が長く、電柱を増やしてほしい。
- ◇ 他の会社の人と交流ができ良かった。



新加入組合員の紹介

《金沢本部》

【事業所名】マエデン



- 所属：金沢本部犀川西支部
- 加入日：平成25年 7 月 3 日
- 事業所名：マエデン
- 住所：金沢市新保本 2 - 18
- 代表者名：前田哲也
- 従業員数：3 人
- 主な事業内容：電気工事業、エアコン、オール電化、太陽光取付け

■コメント：量販店の工事を主に行っています。オール電化、太陽光システムに力を入れています。よろしくお願いします。

【事業所名】(有)M-DEN



- 所属：金沢本部河北支部
- 加入日：平成26年 5 月 20 日
- 事業所名：(有)M-DEN
- 住所：河北郡津幡町渦端765 - 9
- 代表者名：神保真人
- 従業員数：2 人
- 主な事業内容：電気工事業、

電気製品の販売、電気通信

■コメント：電気工事業を主な事業として営業しておりますが、省エネ電化にも積極的に事業を行っています。よろしくお願い致します。

《加南本部》

【事業所名】(株)北川電機



- 所属：金沢本部河北支部
- 加入日：平成25年 7 月 10 日
- 事業所名：(株)北川電機
- 住所：河北郡内灘町字大根布 1 - 30 - 2
- 代表者名：北川利彦
- 従業員数：2 人
- 主な事業内容：電気設備工

事、計装設備工事、機械設備工事、ポンプ設備工事

■コメント：機械及びポンプ工事に伴う電気、計装工事を主として行っています。よろしくお願いいたします。

【事業所名】(有)タニグチムセン



- 所属：加南本部小松支部
- 加入日：平成25年 6 月 28 日
- 事業所名：(有)タニグチムセン
- 住所：小松市打越町乙68
- 代表者名：谷口 中
- 従業員数：5 名
- 主な事業内容：電気製品の販売及び修理、電気工事業

■コメント：電気製品の販売・修理と電気工事を主な事業として営業しておりましたが、太陽光発電システム事業へも積極的に挑戦していますのでよろしくお願い申し上げます。

【事業所名】中森電気



- 所属：金沢本部兼六支部
- 加入日：平成26年 1 月 6 日
- 事業所名：中森電気
- 住所：金沢市瓢箪町 5 - 19
- 代表者名：中森秀和
- 主な事業内容：電気工事業
- コメント：木造、RC、SRCの配線工事を主に行っています。

す。よろしくお願いいたします。

新規採用職員の紹介



石川電気安全サービス
金沢事務所
大井 智博（38歳）

初めまして。1月から石川電気安全サービス金沢事務所で一般電気工作物の定期調査を担当しています。

まだ分からないことだらけで、何かとご迷惑をおかけするかと思います。ご指導の程よろしくお願い致します。

（採用月日：1月6日）



石川電気安全サービス
小松事務所
木下 慎二（35歳）

●**職種**：電気安全サービス調査員

●**発令部署**：石川電気安全サービス小松事務所

●**趣味**：海釣り

●**コメント（抱負・現在の心境）**：初めまして、木下慎二です。4月までは組合員事業所で工事を行っていましたが、これからはお客様の電気設備の安全を検査する調査員として業務に就かせて頂きます。よろしくお願い申し上げます。

（採用月日：5月21日）



石川電気安全サービス
金沢事務所
西村 英樹（35歳）

今春より、石川電気安全サービス金沢事務所で、一般用電気工作物の竣工調査業務を担当しています。

今までに身に付けてきた技術や経験を生かしつつ、新たに知識を培い、適切な判断で業務に取り組んでいこうと思います。

皆様にご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。

（採用月日：4月21日）



石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2014年6月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入をいただきましてご好評いただいております～

任意労災制度(業務中のおケガの補償)【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約のため保険料が一般で加入するより**割安**です(50事業者以上加入の場合15%割引適用)。
2. 従業員の方々からの**個別健康告知は不要**です。
3. **年令・性別に関係なく保険料が一律で、全額損金処理**できます。

※法人が契約者として、従業員全員のために負担する保険料は全額が損金扱いになります。

(法人税基本通達9-3-5,9-3-6の2を準用 2014年6月現在)

こんな場合に
保険金をお支
払いします。



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

- ①地震もしくは噴火またはこれらによる津波によるおケガを地震・噴火・津波危険補償特約をセットする事で、補償ができます。
- ②万一の訴訟・巨額賠償に備えて！「**使用者賠償責任補償**」
 1. 労災高額判決・和解金などに**最大1億円**まで対応できます。
 2. **弁護士費用等**の訴訟費用もお支払いします。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。取扱代理店または弊社にお問合わせください。

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIU損害保険株式会社 金沢支店
金沢市上堤町2-37 金沢三栄ビル3階
<http://www.aiu.co.jp>

TEL 076-223-1144 FAX 076-223-0187

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償保険・その他各種損害保険



AIU損害保険株式会社

募集文書承認番号:A-000470(2015-07)

全日本電気工事業工業組合連合会「業務災害補償制度」

組合員のみなさまへ

組合員の方だけがご加入いただける「全日電工連認定制度」をご紹介します。
万一の事故に備えてご加入をおすすめします。

業務災害補償制度



「業務災害補償制度」にはこんなメリットがあります！！

- ◆スケールメリットにより加入費が割安！
- ◆経営事項審査の加点ポイント！(従業員・下請負人コースにご加入の場合)
- ◆政府労災の認定とは関係なく給付金をお支払い！
- ◆役員・個人事業主コースは24時間補償も選択可能！
- ◆従業員・下請負人コースでは従業員・下請け人を包括的に補償！人数変動の報告が不要！
- ◆制度ご加入の皆様へ「全日電工連の安心サービス」をご提供！

＜加入例＞ 役員・個人事業主コース／24時間補償・電気工事業者
加入型:E型1口(死亡給付金450万円・後遺障害給付金450万円～18万円
入院給付金日額4,000円・通院給付金日額2,000円)

本制度でご加入・・・ **9,280円(年額)**

一般でのご加入・・・ **11,380円(年額)**

※「一般でのご加入」とは本制度と同一の保険会社・保険商品・補償内容での保険料です。
※本制度では、多数割引を適用しております。

本広告は、従業員の安心保険(Jマスター)の概要を説明したものです。お申込みの際は配布しております専用のパンフレットをご覧ください。詳細につきましては、東芝保険サービスまでお問い合わせください。

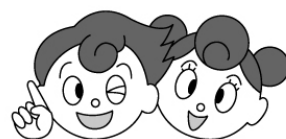
取扱代理店 東芝保険サービス株式会社中部支店 〒451-0064 名古屋市西区名西2-33-10(東芝名古屋ビル3F)
TEL:052-528-1391 FAX:052-528-1394
全日電工連制度専用フリーコール(東京)
(平日9:00～17:00 / 通話料無料) 080-050-02141
引受保険会社 日本興亜損害保険株式会社 金沢支店 〒920-8558 金沢市香林坊1-2-21
TEL:076-231-3293 FAX:076-260-4064

人も、会社も、**もっと**元気に！

中退共

CHU TAI KYO
小企業 退職金 共済制度

- ◆ 掛金の一部を国が助成
- ◆ 掛金は全額非課税。手数料も不要
- ◆ 外部積立型なので管理が簡単
- ◆ パートさんの加入もOK



詳しくはホームページへ

中退共

検索

(独) 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

TEL.03-6907-1234

FAX.03-5955-8211

建設業退職金共済制度(建退共)

事業主の方々が建設現場で働く労働者の共済手帳に、働いた日数に応じて共済証紙(掛金)を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界の仕事を辞めた時に、共済証紙の貼付数に応じて建退共が退職金を支払うという、業界全体での退職金制度です。

- ◆ 加入できる事業主：建設業を営む方
- ◆ 対象となる労働者：建設業の現場で働く人
- ◆ 掛金：日額310円
- ◆ 経営事項審査で加点評価の対象となります。
- ◆ 事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

☆ 加入手続きなど詳しくは、下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

(独) 勤労者退職金共済機構 建退共石川県支部

TEL 076-242-2608

<http://www.ishikenkyo.or.jp>

国の制度

5つの
特長

1 安全確実かつ簡単

2 退職金は企業間を通算して計算

3 掛金の一部免除

4 掛金は損金扱い

5 経営事項審査で加点

この制度は、事業主が建設現場で働く労働者の共済手帳に、働いた日数に応じて共済証紙(掛金)を貼り、その労働者が建設業界をやめたときに退職金を支払うという業界退職金制度です。

組合事務局日誌

- | | |
|---|--|
| <p>1月6日 仕事始め、辞令交付
 8日 三役会（全日電工連）
 10日 組合運営研究会（石川県中小企業団体中央会事務局協議会）
 21日 防災協定締結団体会議（金沢市）
 24日 新年会（石川県電気業会）
 28日 安全・配電合同会議
 29日 金沢本部全体会議
 2月3日 安全管理指導員研修（北陸連合会）
 5日 理事会・代議員会（全日国民年金基金）
 6日 工・製・販座談会（全日電工連）
 7日 タブレット施工者説明会
 19日 懇親会（全日電工連幹部役員・合同会議開催地連合会・高知電工組幹部役員）
 20日 理事会・政治連盟役員会・合同会議（全日電工連）
 25日 役員会・代議員会（北陸三県電気工事業厚生年金基金）
 3月5日 企画委員会
 6日 電設委員会（北陸連合会）
 労働保険年度更新説明会
 11日 配電工事特別安全パトロール
 17日 総務委員会（石川県中小企業団体中央会事務局協議会）
 19日 配電委員会
 20日 総務委員会
 24日 石川県木造家屋等低層住宅建築工事安全対策協議会
 配電委員会・活性化効率化委員会（北陸連合会）
 25日 電気記念日式典（日本電気協会北陸支部）
 石川支店事業主会議（北陸電力株式会社）
 26日 理事会（全国労働保険事務組合連合会石川支部）
 27日 高圧ケーブル接続技能講習会（北陸連合会）
 技能競技北陸大会予選打合せ
 4月7日 技術・認証委員会（全日電工連）
 調査員導入教育（～9日迄）
 8日 富山県電工組新会館落成記念祝賀会
 10日 配電工事事業主会議
 14日 能登本部全体会議
 16日 配電工事安全・品質会議（北陸連合会）
 18日 電設委員会（北陸連合会）
 19日 組合会館電気設備定期点検
 21日 厚生委員会（北陸連合会）
 23日 監事会
 30日 配電工事活性化・効率化検討会（北陸連合会）
 配電委員会（北陸連合会）</p> | <p>5月8日 常務会、組合加入試験委員会
 12日 監事会（北陸連合会）
 役員会（石川県中小企業団体中央会）
 14日 加南本部全体会議
 15日 金沢本部全体会議
 16日 役員会
 20日 第73期通常総代会、第52回優良従業員表彰式
 21日 通常総会（石川県電気業会）
 22日 技能競技北陸大会審査委員会（北陸連合会）
 26日 配電委員会
 27日 通常総会・表彰式（全国労働保険事務組合連合会石川支部）
 28日 支部大会・表彰式（日本電気協会北陸支部）
 30日 三役会・理事会（全日電工連）
 6月2日 通常総会（北陸連合会）
 3日 広報委員会
 4日 第一回技能競技北陸大会（北陸連合会）
 5日 役員会・経済講演会（石川県中小企業団体中央会事務局協議会）
 6日 通常総会（北陸原子力懇談会）
 創立40周年記念式典（石川県設備設計監理協会）
 9日 配電工事効率化・活性化に関する意見交換会
 安全委員会
 通常総会・表彰式（石川県中小企業団体中央会）
 11日 理事会・代議員会（北陸三県電気工事業厚生年金基金）
 通常総会（北陸地区電気エネルギーを考える会）
 16日 三役会議（全日電工連）
 17日 理事会・通常総会（全日電工連）
 19日 電設委員会
 23日 通常総会（石川県農業電化協会）
 26日 通常総会・講演会（石川県中小企業団体中央会事務局協議会）</p> |
|---|--|

こうほう 第131号

発行 2014年7月10日
 発行所 石川県電気工事工業組合
 金沢市新保本4-65-22
 TEL (076)269-7880(代)
 FAX (076)269-7881

呼び起こせ、スペシャリストの新たな風！

技で未来を拓く



平成26年
11月29日(土)

両国国技館

開催時間 9時～17時30分

全日本電気工事業工業組合連合会

第1回 電気工事技能競技全国大会

主催：全日本電気工事業工業組合連合会

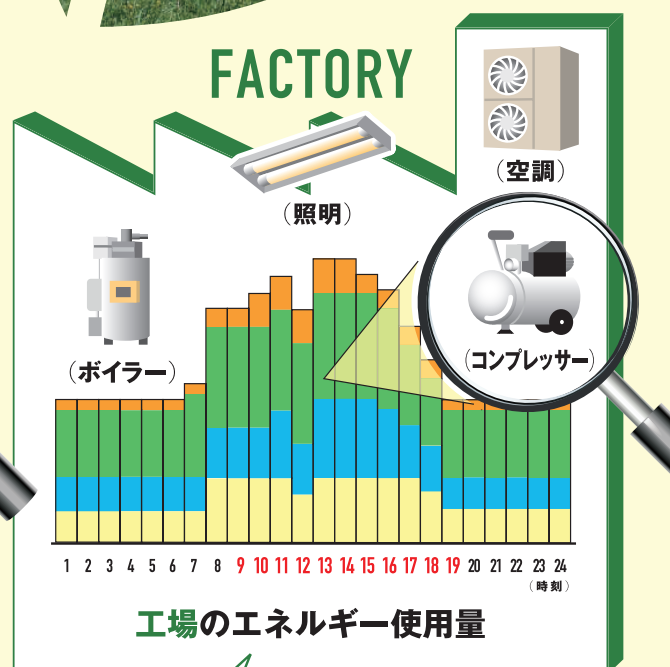
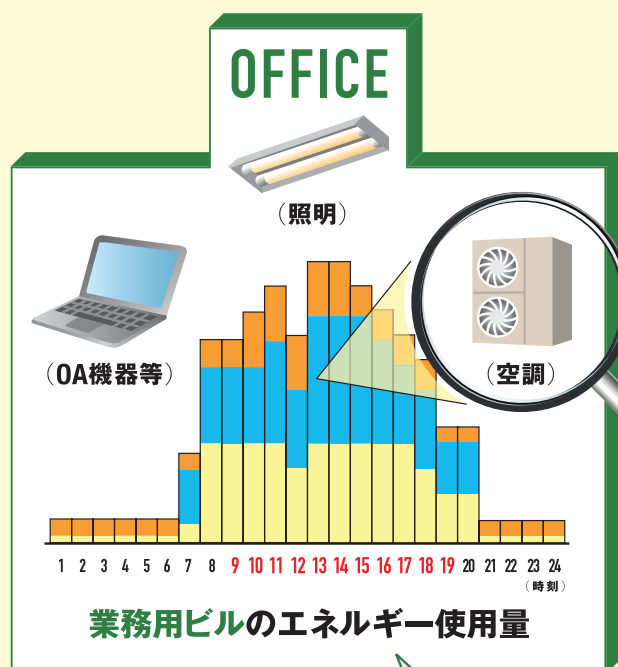
共催：各ブロック電気工事組合連合会・各都道府県電気工事(業)工業組合

後援：経済産業省・国土交通省・文部科学省

協賛：電気事業連合会・(一社)日本電気協会・電気保安協会全国連絡会・(一財)電気技術者試験センター・
全日本電設資材卸業協同組合連合会・全日電工連賛助会員25社

これからの省エネは、 エネルギーの

「見える化」 が有効です。



照明

空調

生産
(コンプレッサー、ボイラー等)

その他
(OA機器等)

お客さまの「見える化」への取組みには、 私たちの「エネルギーソリューション」がサポートします。

「見える化」への取組みは、施設全体のエネルギーの流れ・使用量・使用時間を各種計測等で数値化・グラフ化し、データを分析・解析することで、省エネポイントが明確になり、省エネ対策が効果的に実施できます。北陸電力では、エネルギーに関する専門知識と各種計測等で、お客さまのエネルギーの効率的利用のサポートに取組んでまいります。



お問合せは 営業推進部 商工コンサルチーム ☎930-8686 富山市牛島町 15-1 TEL 076-441-2511 (代)